

ちば県議会だより

一般質問

十二月定例会での質問者と質問項目

十一月一日(水)



小松 実 議員 (共産党)

- TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)
- 私学助成の拡充
- 住宅リフォーム助成
- 千葉市への夜間中学校設置



竹内 圭司 議員 (民主党)

- 女性警察官の幹部登用
- 生活保護受給者の中で働ける能力のある人の自立
- 私立高等学校の経常費助成
- 県立高等学校の配置の適正化



鶴岡 宏祥 議員 (自民党)

- 道路・河川問題
- 産業振興・長生の森公園
- 教員の採用
- 地域医療再生



大野 真 議員 (自民党)

- 環太平洋パートナーシップ協定(TPP)
- 農業者戸別所得補償制度
- 酒々井インターチェンジ及び県

- 道八千代印旛米自転車道線
- 県立病院の施設整備



高松 健太郎 議員 (民主党)

- 不正経理問題
- 防災危機管理監
- 工場移転対策
- 柏の葉交番の設置



亀田 郁夫 議員 (自民党)

- 行財政改革の推進
- 生涯大学校



鈴木 衛 議員 (自民党)

- 東京十号線延伸新線
- 京葉道路原木インターチェンジ周辺の道路問題
- 少人数学級の推進
- 障害のある子供の放課後活動の制度化



伊藤 勲 議員 (自民党)

- 農業問題
- 河川問題
- 有害鳥獣対策
- 県職員の海外視察研修



秋林 貴史 議員 (公明党)

- 障がい児の保護者への支援策
- 保育ママ制度
- 中小企業対策
- JR松戸駅、新八柱駅のバリアフリー化



江野澤 吉克 議員 (自民党)

- 行政への暴力対策
- 治水対策
- 道路問題
- かずさアカデミアパーク



横堀 喜一郎 議員 (民主党)

- 県の文書の電子化
- 道路問題
- 東金九十九里地域医療センター
- 教育問題



吉本 充 議員 (自民党)

- 内房線の強風対策
- 内房地域の漁業振興
- 富津岬沖の第一・第二海堡の活用
- 教育問題 特別支援教育の充実



大松 重和 議員 (自民党)

- 農業問題
- 医療問題
- 道路問題



内田 悦嗣 議員 (自民党)

- 羽田空港騒音問題
- 日の出・明海・高洲海岸
- 安全でおいしい給食
- 福祉・医療問題



伊藤 昌弘 議員 (自民党)

- 印旛沼及びその周辺における環境問題
- 印旛沼周辺の治水対策
- 農業問題
- 道路問題



吉川 洋 議員 (市民ネット・社民・無所属)

- 千葉県不正経理問題の責任
- 八ッ場ダムについて県としての検証
- 柏市北部区画整理事業
- 保育園の待機児及び高齢者福祉



服部 友則 議員 (自民党)

- 未利用県有財産の処分
- 道路問題
- 教育問題
- 移住・定住施策



秋山 光章 議員 (自民党)

- 安房特別支援学校と館山聾学校

- 施設の待機者の解消

- の統合
- 旧県立安房南高等学校跡地の活用と校舎の活用方策
- 交通安全対策
- 館山港の多目的観光棧橋



阿井 伸也 議員 (自民党)

- 山武地域の医療問題
- サンライズ九十九里と観光振興
- 農林水産問題
- 子供たちの教育環境



矢崎 堅太郎 議員 (民主党)

- 知事の政治姿勢



伊藤 和男 議員 (自民党)

- 少子高齢化問題
- 集合住宅施策
- 警察行政

- 医療問題
- 空港問題
- 農業問題

質問項目は、紙面の都合上一人四項目以内で掲載しています。詳細は、千葉県議会ホームページ等で確認できます。

12月定例会県議会 知事あいさつ

はじめに、「ゆめ半島千葉国体」及び「ゆめ半島千葉大会」について申し上げます。

県民挙げて準備を進めてきた結果、大成功のうちに終わることができました。ご尽力いただいた皆様から心から御礼申し上げます。

両大会では、天皇后陛下をはじめ、多くの皇族方のご来県を賜り、県民とも親しく触れ合っていたことは、素晴らしい思い出としていつまでも県民の心に深く残ると考えております。

「ゆめ半島千葉国体」では、多くの競技で千葉県選手団「チームちば」が旋風を巻き起こした結果、悲願の完全優勝を成し遂げました。今後も、この輝かしい成果を生かし、「スポーツ立県千葉」の定着を目指していきます。

また、「ゆめ半島千葉大会」で千葉県選手団が、計218個のメダルを獲得し、最高の成績を収めたことは、この上ない喜びであり、夢に向かって全力で戦う姿に、大変感動いたしました。両大会を「最高の笑顔」や「温かいおもてなしの心」で盛り上げていただいた多くの県民の皆様へ感謝いたします。

また、今大会のPRに大活躍してくれた「チーバくん」は、平成23年1月から県の Mascotキャラクターとして引き続き活躍してもらうことにいたしました。

これからも、今回培った「笑顔とおもてなしの心」を千葉県の財産として生かし、元気な千葉県づくりに取り組んでいきます。

この秋、もう一つの「夢と感動」がありました。千葉ロッテマリーンズが5年ぶり、4度目の日本一に輝いたことです。最後まで諦めずに夢に向かって戦う選手たちの姿と、チームの「和」に多くの方々から心打たれたのではないのでしょうか。

県では、活躍をたたえ、チームに対して知事特別賞を、西村監督には知事特別感謝状を授与したところです。今後のさらなる活躍を期待いたします。

次に、当面する諸問題について、ご報告申し上げます。

まず、成田空港の年間発着枠30万回への容量拡大が、国・県・関係9市町及び成田空港株式会社からなる「四者協議会」にて合意されました。

県としては、合意を受け、環境対策の一層の充実に努め、30万回に向けての機能強化と、空港への鉄道・道路アクセスの抜本的な改善策など基盤整備について、国に対し要請したところです。

今後とも、国際線基幹空港としての機能を生かした施策展開に積極的に取り組み、本県経済の活性化を目指していきます。



次に、東京湾アクアライン及び首都圏中央連絡自動車道について申し上げます。

アクアラインは、料金引き下げの社会実験により交通量が昨年に比べ1.5倍に増加し、利用者の9割が現在の利用料金の継続を希望しています。アクアラインは、もはや首都圏の大動脈として欠かせないものとなってきており、平成23年度からの国策による恒久的な料金引き下げの実現に向け、さらに国へ強く働きかけていきます。

また、首都圏中央連絡自動車道は、成田空港の機能拡充をはじめ、物流機能の高度化や地域経済の活性化、観光立県の推進などに寄与する極めて重要な道路です。圏央道沿線の8都都市で構成する「首都圏中央連絡自動車道建設促進会議」の会長として、国に圏央道全線の早期完成を要望してきたところです。

「トラベルマート2010」が、幕張メッセで開催されます(平成22年11月25、26日開催)。海外各国の旅行会社やメディアと国内の事業者が一堂に会する国内最大級の国際観光商談会で、千葉を売り込む絶好の機会です。

県では、海外からの関係者を歓迎し、県内の事業者と交流を図る国際観光交流会「千葉の夕べ」を開催し、私自身が先頭に立ち、千葉の魅力、ポテンシャルをPRしていきます。

最後に、民事再生手続きを進めてまいりました株式会社かずさアカデミアパークは、債権者集会において再生計画が可決され、裁判所が再生手続きの終結を決定したところであり、11月の株主総会及び取締役会で新たな経営陣を選任し、再出発することとなりました。

同社が引き続き、かずさ地域のさらなる活性化に貢献していただくことを期待しています。

その他、平成22年度12月補正予算など、議案の概要説明がありました。